

**MAITZ**

# 取扱説明書

電動裁断機  
CE-4215型



**CE-4215型**

専用台は別売品です。

(社)産業安全技術協会

合格番号 第TA346号

《安全はマイツのこころ》

## 電動裁断機 CE-4215型 取扱注意事項



裁断機をお使いになる前に必ずこの取扱注意事項説明書を良くお読みになり、安全な操作をされますように、各種注意事項をご理解の上、作業してください。

この取扱説明書は常に機械のそばに備え付けて置いてください。



機械は小さなお子様の手の届かない場所に設置してください。  
小さなお子様には決して機械の操作はさせないでください。



裁断刃の下には決して手を差し込まないでください。

クリーニングやメンテナンス作業で、どうしても受木の部分に手指を近づける場合には、裁断刃が完全に上部に収納されていることを確認してから作業を行ってください。



### 危険

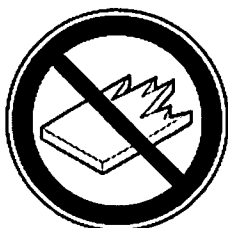


裁断刃には決して直接手指を触れないでください。

裁断刃を取り出す場合や運搬する場合には、必ず専用の保護ケースか十分な安全性が確保できる保護容器に収納してください。

又、予備の替刃を保管する際には、保存取納ケースや保管場所等の安全性には、充分留意してください。

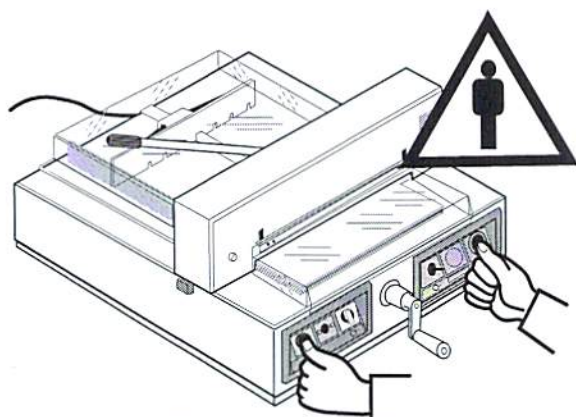
(「裁断刃の交換方法」のページを参照してください。)



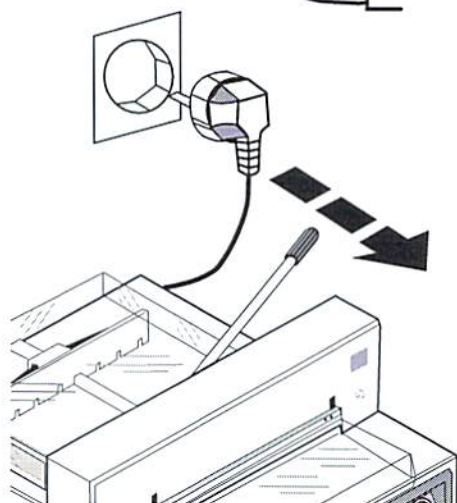
この裁断機は、普通紙（PPC用紙のような標準的な紙類）を任意の寸法に裁断する目的で設計、製造されておりますので、硬質の素材や木片のようなものは絶対に裁断しないでください。手指を怪我したり、機械本体又は構成部材を損傷する要因にもなります。

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 取扱注意事項                          | 2  |
| <b>1</b> 安全にお使いいただくために          | 4  |
| <b>2</b> 機械の設置と初期準備作業について       | 7  |
| <b>3</b> 機械の操作部位について            | 8  |
| <b>4</b> 操作方法                   | 9  |
| 4-1 注意事項                        | 9  |
| 4-2 裁断準備                        | 9  |
| 4-3 前面パネルの見方                    | 10 |
| 4-4 裁断寸法の設定方法                   | 10 |
| 4-5 用紙のセット方法                    | 11 |
| 4-6 用紙の裁断方法                     | 11 |
| 4-7 裁断を中断したり止めるときは              | 12 |
| <b>5</b> 裁断後の排紙方法について           | 13 |
| <b>6</b> 裁断作業をするときの注意事項         | 13 |
| <b>7</b> 受木と裁断刃の交換方法            | 14 |
| (A) 受木と裁断刃を交換する際の留意事項について       | 14 |
| (B) 受木の交換方法について                 | 14 |
| (C) 裁断刃の交換方法について                | 15 |
| <b>8</b> メンテナンス（注油点検）及びクリーニング   | 19 |
| <b>9</b> 故障かなと思ったら              | 20 |
| <b>10</b> 専用アクセサリ               | 23 |
| <b>11</b> 製品技術データ               | 23 |
| <b>12</b> 製品の構造、装置、電気回路等に関する安全性 | 24 |
| ☆各種お問合せの窓口案内                    | 24 |

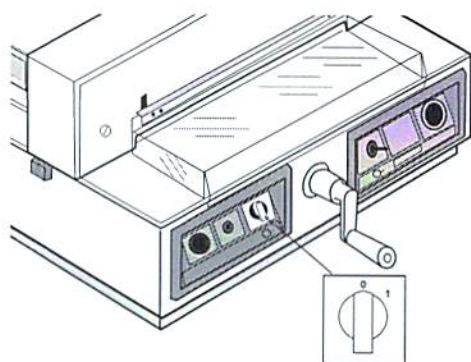
## 1.【安全にお使いいただくために】



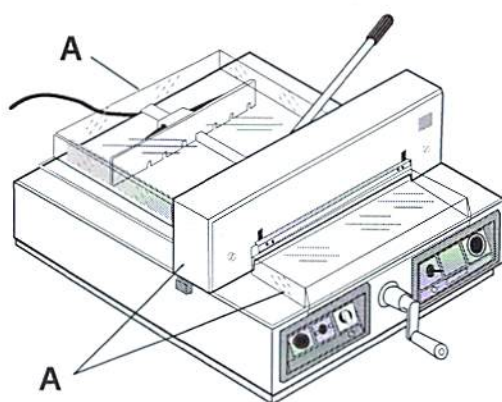
この裁断機は、安全性の確保を重視し、「一人で両手操作」して頂くように機械的に構造設計されておりますので、裁断操作は必ず一人の方だけが作業されますようお願い致します。



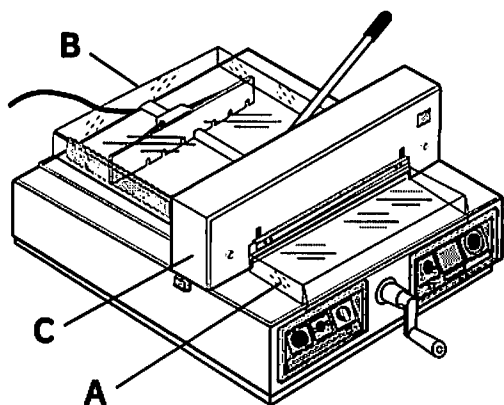
機械のクリーニング、修理点検、メンテナンス等の如何なる作業時においても、主電源スイッチは必ず切って、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



裁断刃及び受木の交換の際には、必ず主電源スイッチをOFF（Oの位置）にしてから作業してください。

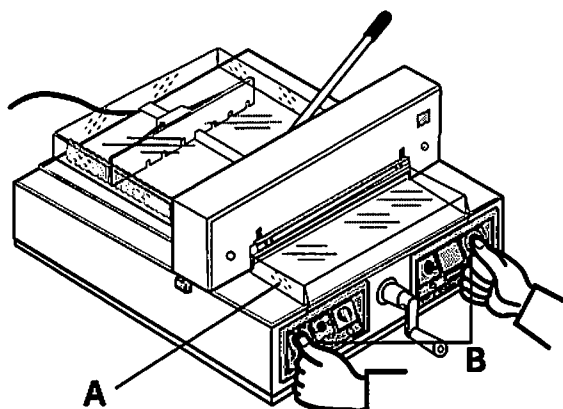


裁断作業をする方の安全性を確保するために、総ての操作作業部位には安全ガードカバーが装備されております。（A）

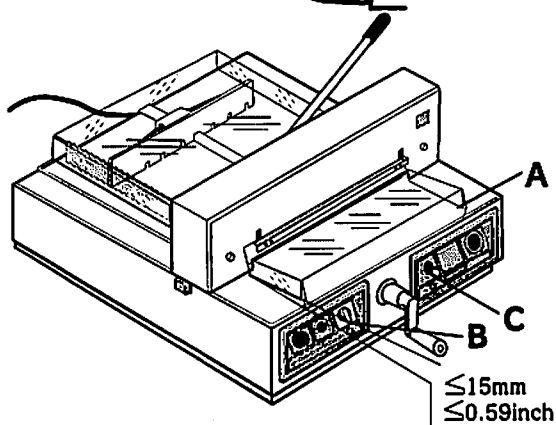


安全のための装備・装置を取り外しての裁断作業は絶対にお止めください。

- 連動式前面安全ガードカバー (A)
- 固定式後面安全ガードカバー (B)
- メカカバー (C)



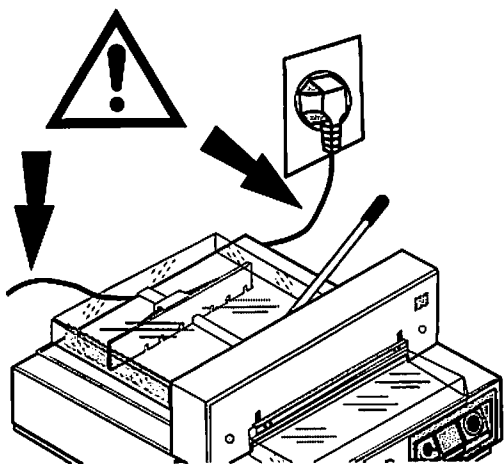
裁断作業の安全性は、連動式前面安全ガードカバー (A) と両手同時操作 (B) により確保されています。



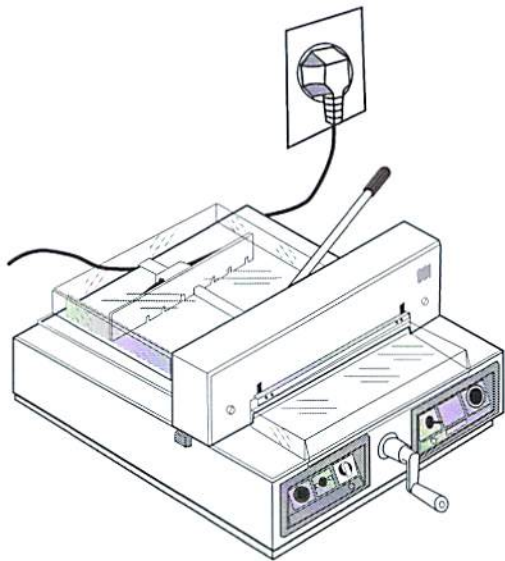
裁断機で作業する前と裁断刃の交換作業の後では、前面安全ガードカバー (A) が電源回路を自動的に遮断する機能を果たします。

このガードカバー (A) と台盤との隙間が15 mm以上あった場合には機械が作動しませんので注意願います。

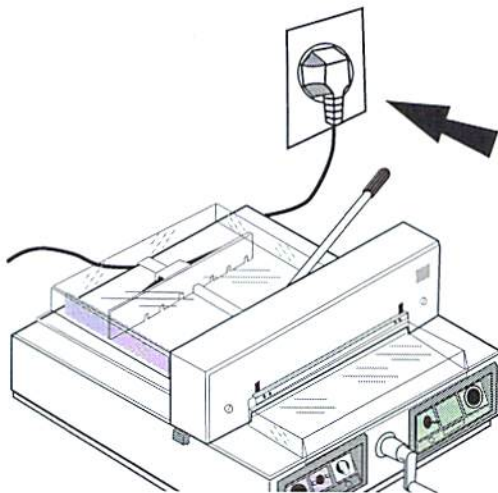
前面安全ガードカバー (A) を点検願います。  
メインスイッチ (B) 作動用キー (C)



電源コードを配線する際には、熱を帯びている場所やオイルを使用するような場所、或いは鋭角なエッジがある場所を避けてください。



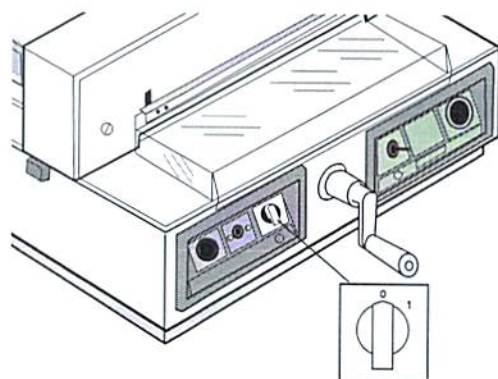
電源コードは必ず単相コンセントに繋いでください。



裁断機の電源コードは、他の電気製品と共有しないコンセントに直接単独で繋いでください。

(タコ足配線禁止)

電流の供給が不安定になり、他の機器の影響を受けて誤作動の原因等にもなりかねませんのでご注意願います。

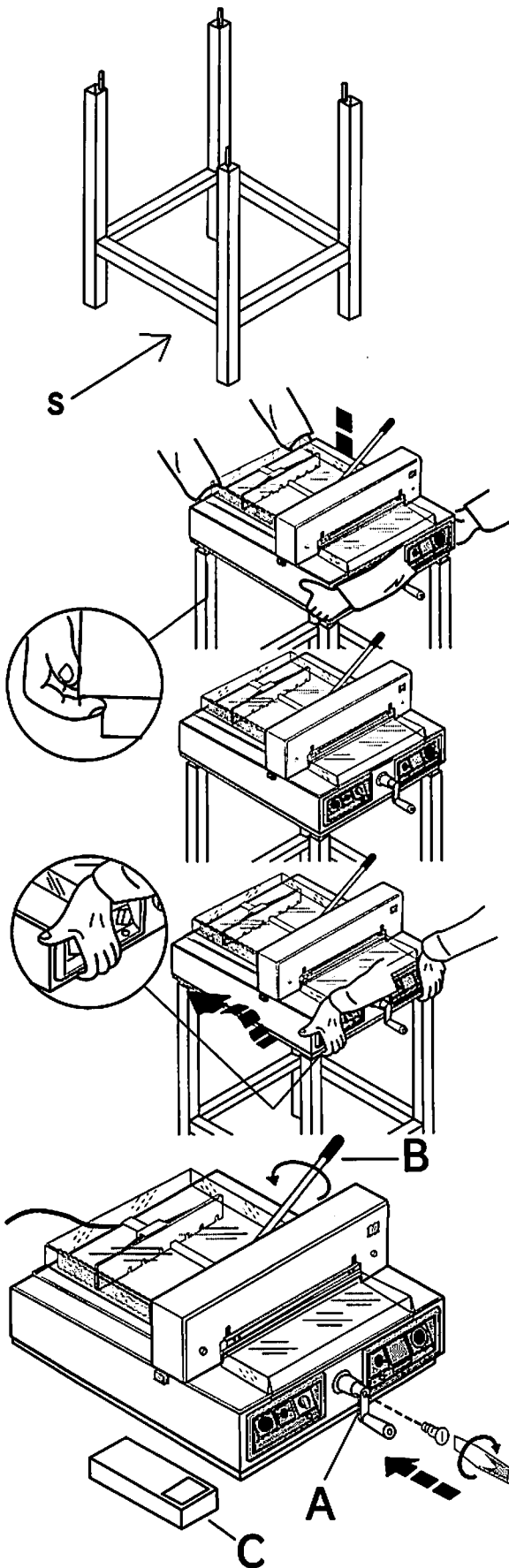


長い間お使いにならない場合には、必ず主電源スイッチは切って、電源コードはコンセントから抜いておいてください。

(メインスイッチを“0”に合せます。)



## 2. 機械の設置と初期準備作業について



裁断機は重量がありますので、しっかりとしたキャビネット、デスク又はテーブルや専用台(S) (別売) に載せてご使用ください。  
専用台の組立て方は、同梱されておりますマニュアルに従って作業してください。

最少でも屈強な方が2名で、重畳バランスを考えて裁断機を持ち上げて、テーブル又は専用台に載せてください。



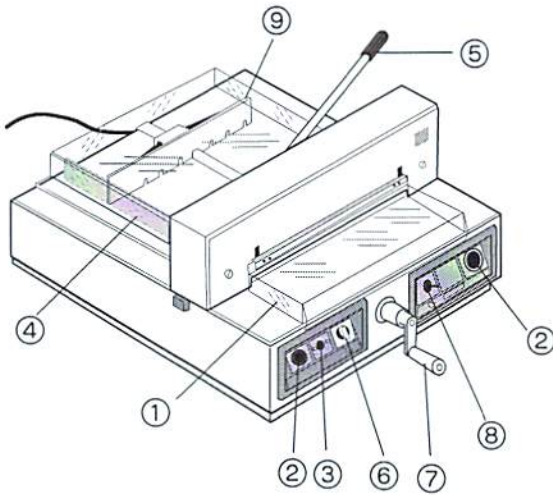
その際に、手指を挟まないように充分気をつけてください！  
専用台に設置する場合は専用台組立図の手順に従って設置してください。

クランクハンドル (A) をネジで固定します。  
紙押用レバー (B) を受けシャフトに廻しながら固定します。  
部材、部品、工具はすべて工具箱 (C) の中に入っております。

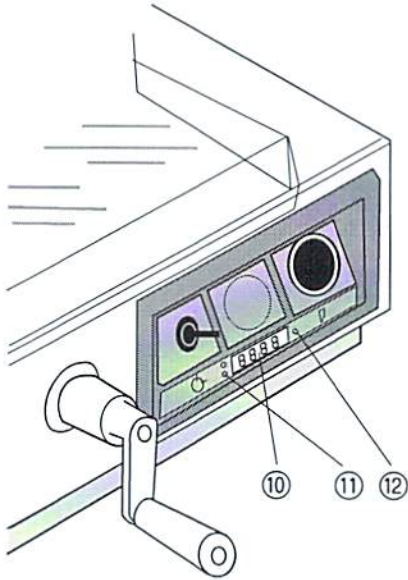
電源コードを単相コンセントに差し込みます。

初期準備作業は完了です。

### 3. 機械の操作部位について



- ① 前面安全ガードカバー
- ② 裁断カットボタン(両手操作安全方式)
- ③ 負荷スイッチ (プロテクター)
- ④ 左側面当て枕
- ⑤ 紙押えレバー
- ⑥ 主電源スイッチ (メインスイッチ)
- ⑦ バックゲージ操作用クランクハンドル
- ⑧ キースイッチ
- ⑨ バックゲージ

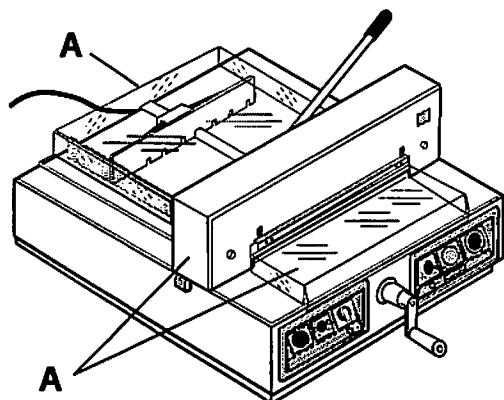


- ⑩ 裁断寸法表示窓 (大文字4桁)
- ⑪ センチ/インチ切換えスイッチ
- ⑫ 裁断寸法単位 (センチ/インチ)



## 4. 機械の操作方法について

### 4-1 : 注意事項



裁断機の操作方法や安全に関する注意事項等がよく分からない点がある場合には、機械の操作は絶対に行わないでください。

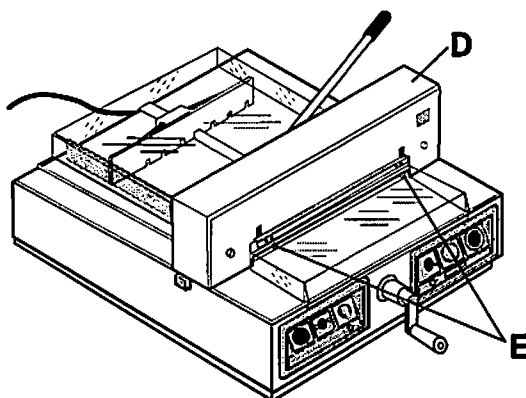
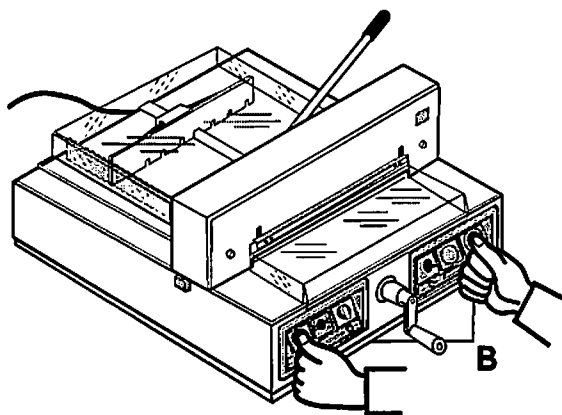
ご使用前に、必ず各種安全装置が正常に動いているかどうか点検してください。

○ すべての安全ガードカバーが装備されていますか。(A)

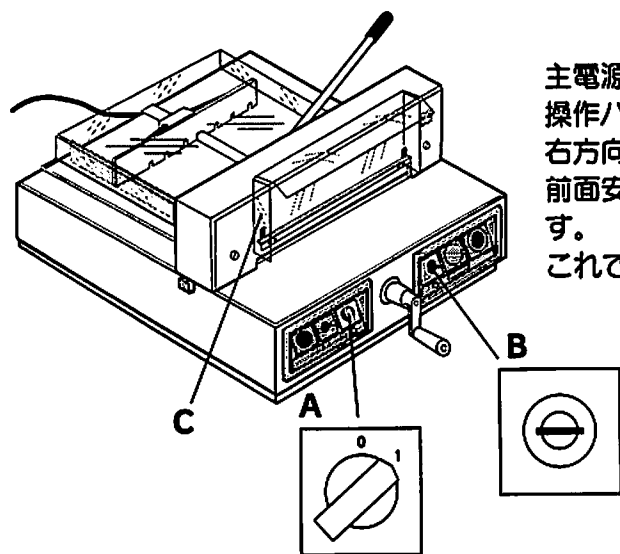
○ 裁断操作は、安全ガードカバーが完全に閉じられていて、両手で同時にスイッチを押した場合のみ作動するように設計されています。(B)

○ 前面安全ガードカバーは自動的に閉まることはありません。

もしカバーが自然に下がってしまう場合にはメカカバー (D) を外して、安全カバーの六角ボルト (E) をきつく締め直してください。



### 4-2 : 裁断準備

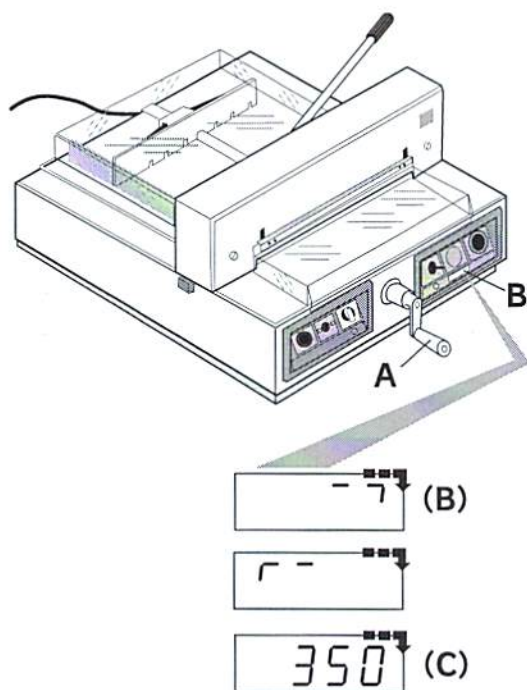


主電源スイッチを“1”の位置に合わせます。(A) 操作パネルにあるキースイッチ (B) に鍵を差込み右方向に廻します。

前面安全ガードカバー (C) を最上位置まで開けます。

これで機械は裁断準備に入りました。

#### 4-3 : 前面パネルの見方



裁断寸法はクランクハンドル(A)を廻してセットします。

電源を入れますと、前面パネルの寸法表示窓(電源ランプ兼用)(B)に回転点減式のサインが右回りで表示されます。

クランクハンドルを、初期数値が表示されるまで右方向に廻し続けます。

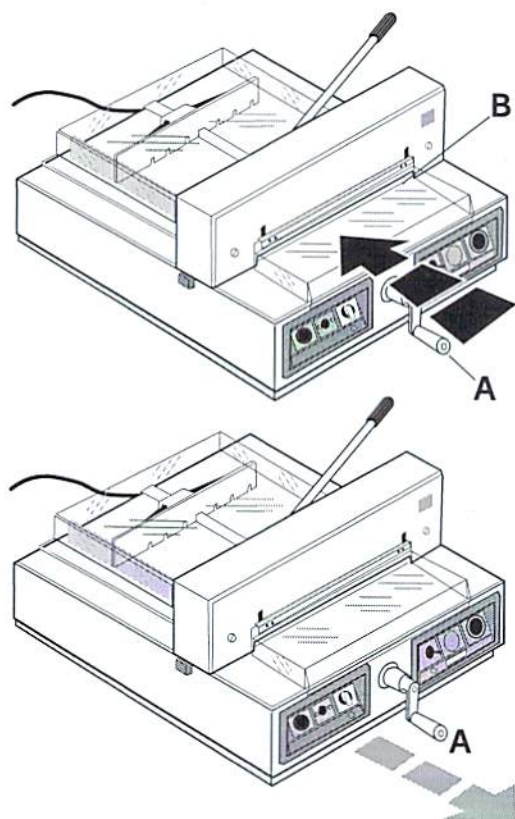
この時表示された数値が初期値約3.40~3.50になります。(C)

もしバックゲージが一番手前にある場合には、寸法表示窓のサインは左回りで点減表示されます。そこで、クランクハンドルを、寸法表示窓のサインが右回りに変わるまで回転させ初期数値が表示されるまで右方向に廻します。

この時寸法表示窓に表示された数値の単位は、cm(センチメートル)です。(インチ=inch表示も切替え可能です。)(C)

(インチ切替方法は8ページ⑪参照)

#### 4-4 : 裁断寸法の設定方法



クランクハンドル(A)を廻してバックゲージを移動させ、裁断寸法を決めます。

※バックゲージを前進させる

→(A)を右に廻す。

※バックゲージを後退させる

→(A)を左に廻す。

前面パネルの寸法表示窓に寸法が表示されます。

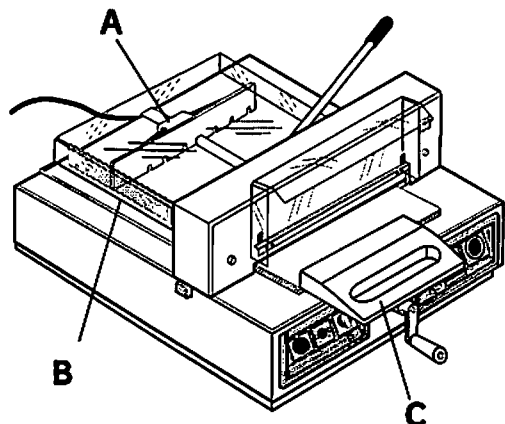
○光学式裁断位置照示位置の高輝度赤色LEDが正確な裁断位置を示しますが、裁断刃はこの赤いラインの前側に下りてまいります。

更なる精度を必要とする裁断には不向きですのでご注意ください。

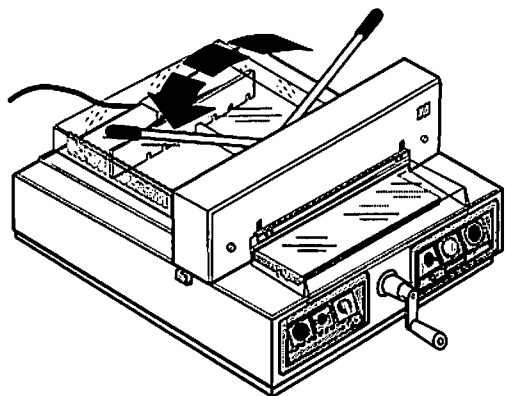
裁断寸法を設定した後では、クランクハンドル(A)を常に引っ張り出してフリーな状態にしておいてください。

触れたりして寸法が狂うことがあります。

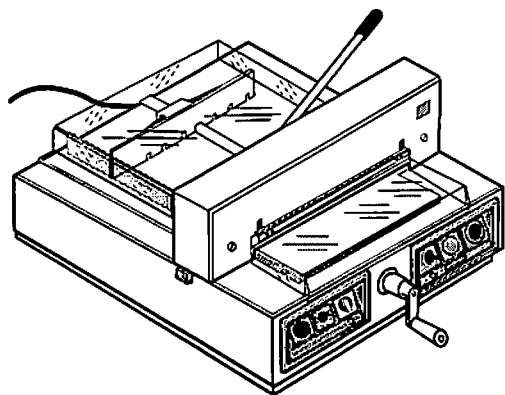
#### 4-5：用紙のセット方法



前面安全ガードカバーを開けて、裁断する用紙を、バックゲージ (A) と左側面の当て枕 (B) にきちんと当ててセットしてください。裁断する用紙は前方から差し入れますが、その際には付属の木製ジョギングエイド (紙揃用ブロック) (C) を使って、用紙を揃えてください。

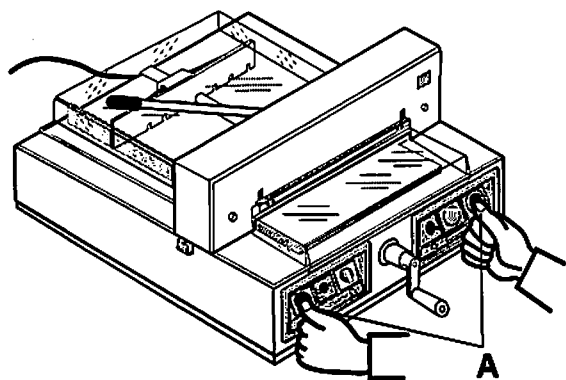


用紙を裁断する度に、紙押えレバーは左方向に倒して強く締め付けるようにしてください。



前面安全ガードカバーを閉めてください。

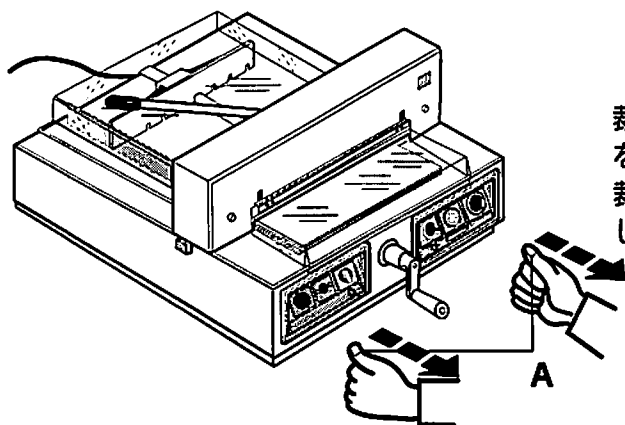
#### 4-6：用紙の裁断方法



両手操作方式ですので、前面パネルの左右両端にあるカットボタン (A) を同時に押して、用紙が完全に裁断されるまで押し続けてください。裁断終了後カットボタンより手をはなしてください。刃は自動的に上部へ戻ります。

次ページへつづく→

#### 4-7：裁断を中断したり止めるときは



裁断を中断したいときや止める場合には、両手をカット操作ボタンから離してください。但し裁断作業中での操作は裁断刃の状態を充分確認してください。(通常は上部に収納されます)



注意

裁断途中では、絶対に電源スイッチを切らないで下さい。

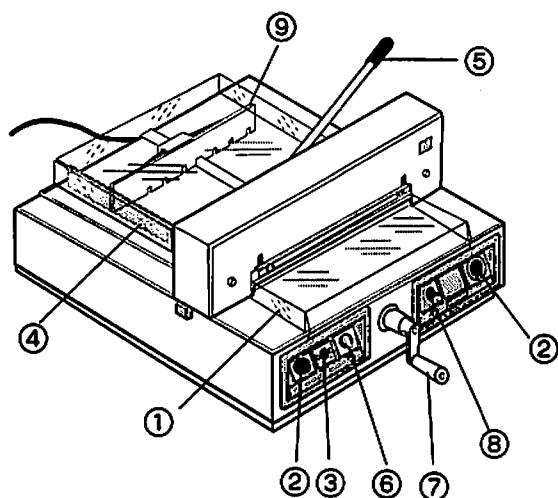
## 5. 裁断後の排紙方法について



注意

用紙の裁断が終わるまで両手は②のスイッチから絶対離さないでください。機械の故障や怪我の要因になる場合があります。

裁断の途中で安全カバー①を開けないでください。



1. 用紙裁断後、紙押レバー⑤を右方向に戻してください。
2. 次に、前面安全ガードカバー①を上を開けて裁断した用紙を取り除いてください。
3. 裁断後用紙を取り除くにはクランクハンドル⑦を右方向に数回廻してください。バックゲージ⑨が前方に移動して、用紙を押し出してくれますから、カットラインより手前に出てきたら取り出してください。

## 6. 裁断作業するときの注意事項について



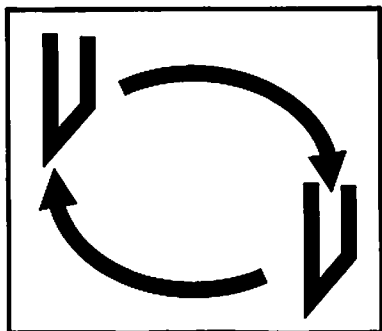
1. 裁断用紙の向きを変えたり取り出す時は、クランクハンドル⑦を右方向に数回廻し、用紙をカットラインより手前に出してバックゲージ⑨を前方に移動させて作業してください。  
裁断刃の下に絶対手指を差し入れないでください。
2. 裁断刃が上方向に移動中に安全カバー①を開けないでください、作動用電源スイッチ類⑥・⑧等进行操作して割り込み作業をしたり、電源スイッチを切って裁断作業を中断することは絶対しないでください。
3. 裁断刃の操作は、電源が完全に切断されている時だけです。
4. 前面の安全ガードカバー①は必ず閉めておいてください。
5. 裁断刃は常に上部に収納されていなければなりませんし、紙押板で保護されていなければなりません。
6. 裁断刃には決して直接接触しないでください。
7. 必ず一人で作業して下さい。
8. 小さなお子様には決して機械の操作はさせないでください。

不測の怪我や事故を避けるためにも、これらのことは必ずお守り頂き裁断作業を行ってください。

裁断作業の前には、必ず取扱説明書をよくお読み頂き、ご不明な点がございましたら、ご購入頂いたご販売店或いは弊社カスタマーサービス課(巻末ページに詳細記載)までお問合せください。

## 7. 受木と裁断刃の交換方法について

### (A) 裁断刃と受木を交換する際の留意事項について



もし裁断の仕上がりが悪くなったり、裁断状態が思わしくなくなったときには、次の点をチェックしてみてください：

1. 裁断刃の下りる高低の調整。(別項に記載)
2. 受木の状態をチェックしてみてください。
3. 裁断刃を研磨するか、新しいものと交換してください。

#### ご注意：

もし裁断刃の高さ（刃欠けがある場合には、その一番深く抉れた部分から測って）が36mm（1.42 inch）以下ですと研磨は出来ませんので新しい裁断刃をお買い求めください。（目安として通常のご使用状態であれば4回程度が研磨できます。）

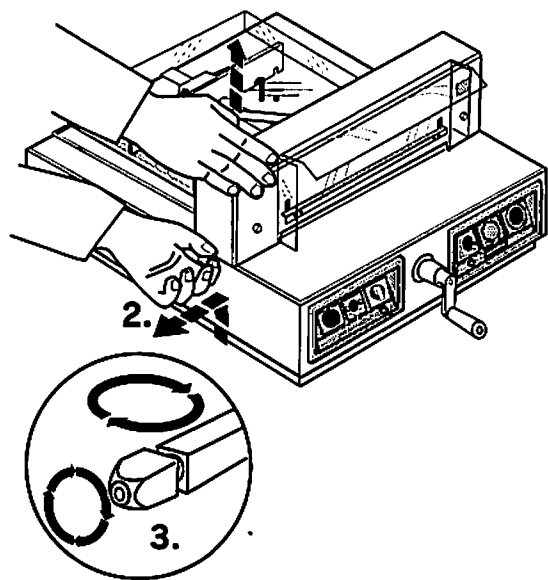
裁断刃を研磨される場合には、専門の業者又はご購入販売店を通じて弊社までご依頼ください。



裁断刃の刃先は大変鋭利になっております。

必ず保護材、決して剥き出しの状態にしないでください。裁断刃の運搬の際には、専用の保護ケースか、緩衝材等をあてがい、脱落等が生じないようにしっかりと包装してください。裁断刃の取り外し、交換作業は必ず熟練されたスタッフに委託することをお薦めいたします。

### (B) 受木の交換方法について



受木の面や向きを変える場合又は交換する場合は、

- a. 先ず、メカカバー前面の左側のネジを少し（1.5回転ほど）廻して緩め、そのメカカバーの左端を少し持ち上げます。（1）
- b. 次に、少し飛び出している受木をつまんで、上にほんの少し持ち上げて引き抜いてください。（2）

受木は、回転させて4面、逆方向から差し込んで4面の、合計8面使えます。（3）

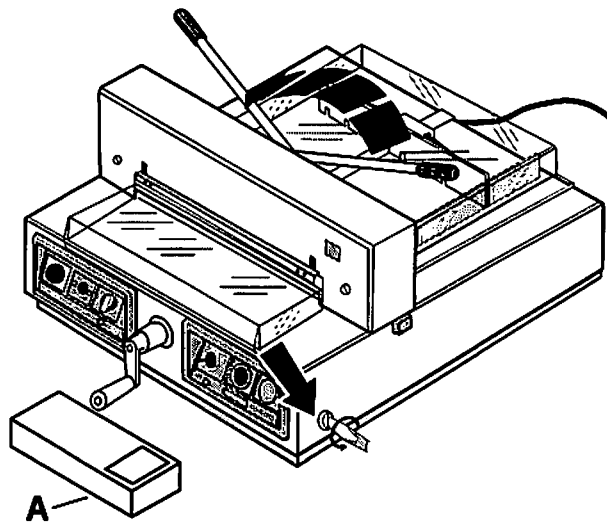


受木交換作業中には、手指を裁断刃の下に差し込まないように注意してください。



## (C) 裁断刃の交換方法について

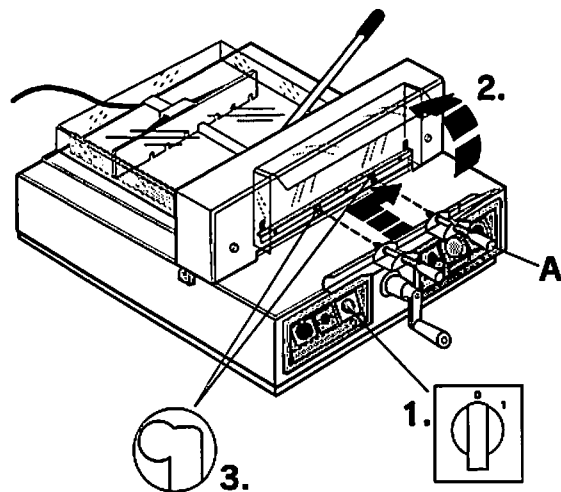
### (その1) 裁断刃の取り外し方について



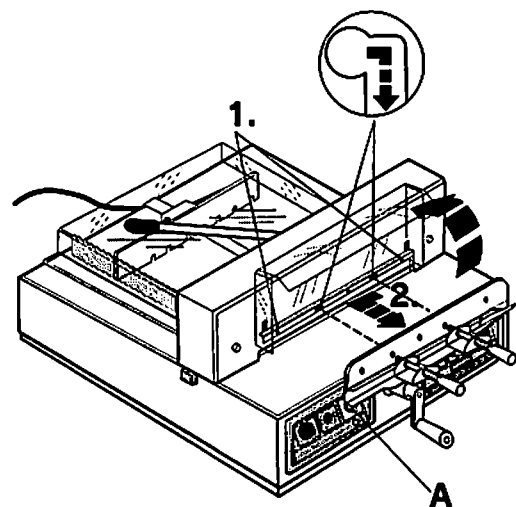
- a. 機械本体の右側面にある裁断刃の高低調整ネジを左方向に（止まるまで）廻してください。

この際使用するマイナス（-）ドライバーは、工具箱（A）の中に入っております。

紙押入レバーを左に倒して作業してください。



- b. 主電源スイッチを“O”に合わせます。(1) 前面安全ガードカバーを開けます。(2) 裁断刃を固定しているネジのうち、鍵穴状の穴に固定してある2個のネジを取り外します。(3) そこに、裁断刃交換治具の先端のネジ部を差し込み締めて、裁断刃に治具をしっかりと固定します。(A)



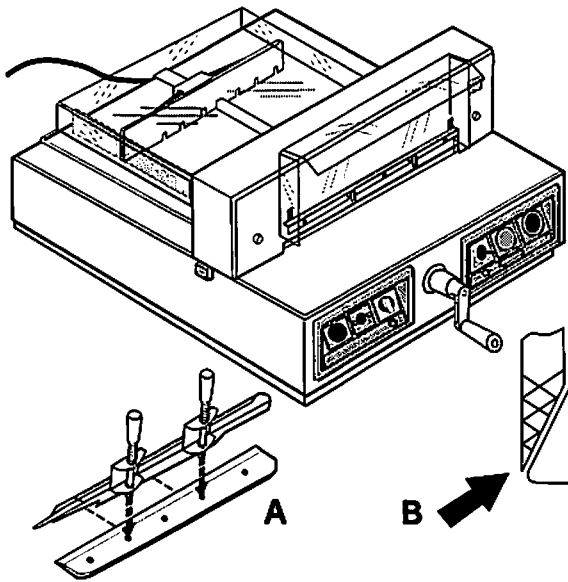
- c. 次に、裁断刃を固定している残りの3個のネジを取り外します。(1) 裁断刃交換治具に固定された裁断刃を、交換治具(A)のハンドルをしっかりと握り、右方向にずらし、下げながら取り外します。(2) 取り外した裁断刃を平らな床面にて、裁断刃交換治具のグリップを廻し、裁断刃を取り外します。

◎裁断刃の刃先は大変鋭利になっておりますので、絶対剥き出しの状態での移動・運搬等はないください。

◎必ず緩衝材、保護材等をあてがい、脱落や手指等が刃先に触れないように厳重に包装してください。

◎裁断刃の取り外しや交換作業は、熟練されたスタッフに委託することをお薦めいたします。

(その2) 裁断刃の取り付け方について



裁断刃の取り付けに際しては、その取扱に充分注意してください。

1. 取り付ける刃を平らな床面に置き、裁断刃交換治具 (A) を左図のように赤いグリップを廻してネジ穴に差し込みます。その時、裁断刃の刃先は裁断刃交換治具の先端から飛び出していないか、チェックしてください。(B)
2. 裁断刃がセットされた交換治具を両手でしっかりもって、本体右側から差込み (1) 上方に持ち上げ、鍵穴状のネジ穴に図(A)のようにセットします。その際には、裁断刃交換治具の手元の金具を親指で図 (B) のように手元に引き寄せるようにします。

図1

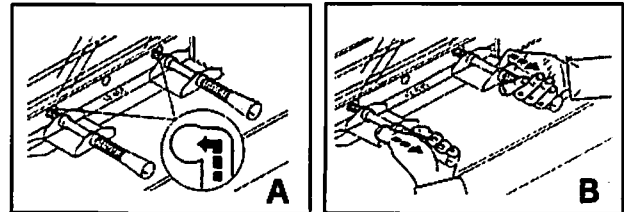
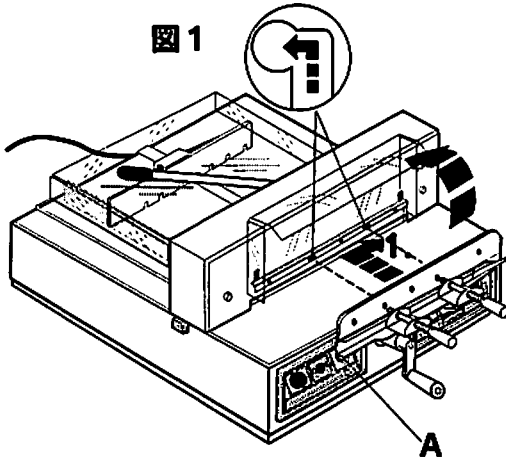
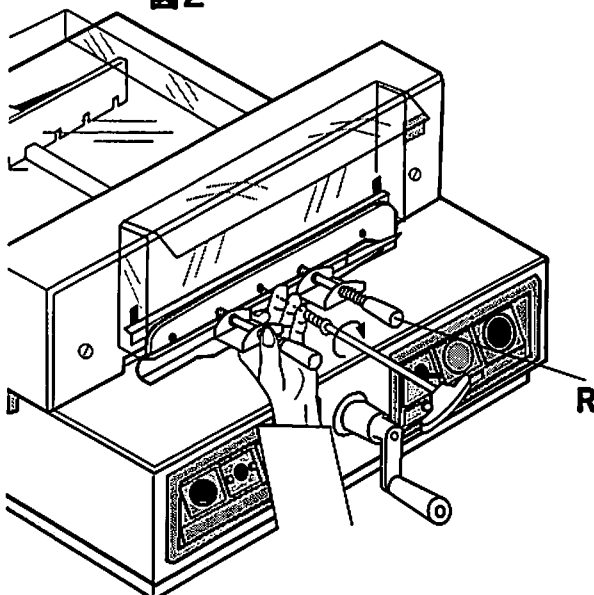
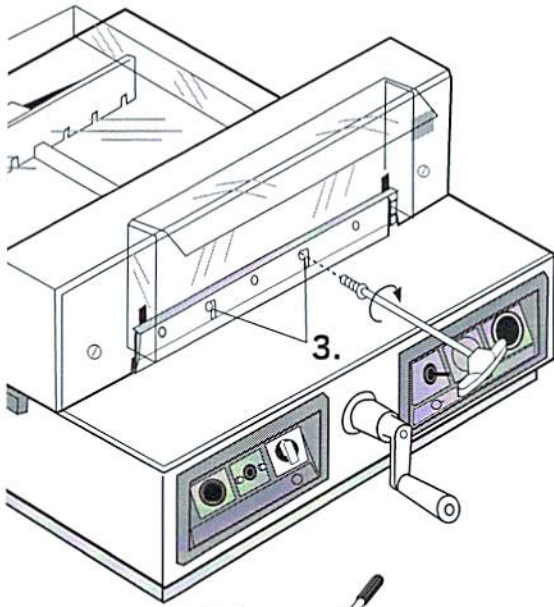


図2

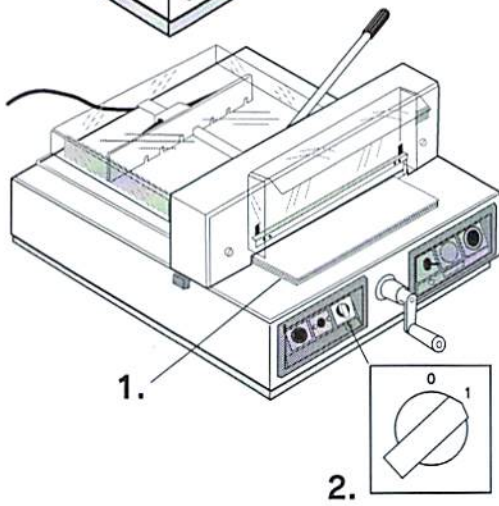


3. 次に、左手で裁断刃交換治具を図1のように上方に押し付けます。
4. 先ず最初に、右手で図2のように裁断刃真ん中に位置する取り付けネジを締め付けます。それから、両端の2個のネジを締め付けます。
5. そこで、裁断刃交換治具 (R) を取り外します。

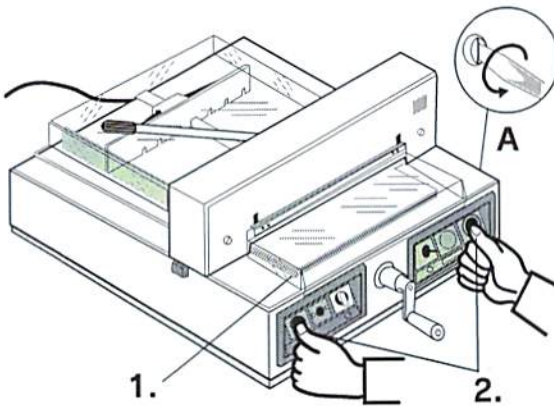
次ページへつづく→



6. その裁断刃交換治具 (R) を取り外した後の鍵穴状のところのネジ2箇所 (3) を同様に締め付けます。



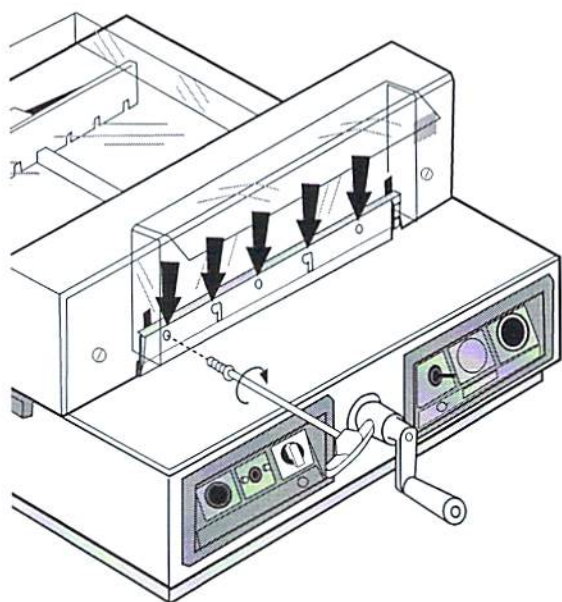
7. 機械のそばからすべての工具類をどかして、片付けてください。  
 8. 裁断幅一杯になるような紙を数枚 (10枚程度) 用意し、裁断する要領で差し込んでください。(1)  
 9. 主電源スイッチを廻して“|”の位置に合わせてください。(2)



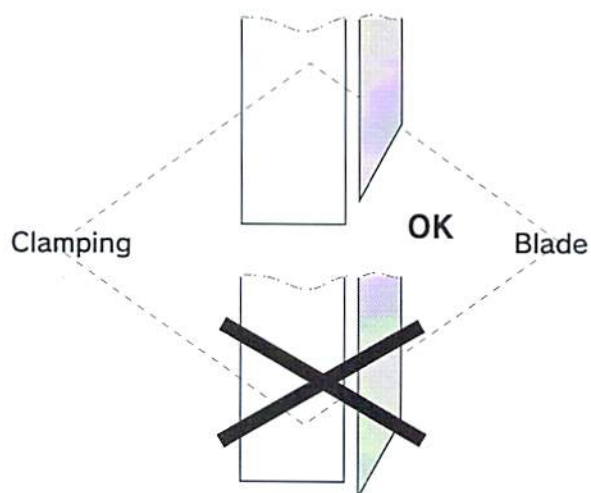
10. 前面安全ガードカバー (1) を閉めます。  
 11. 操作パネル両端のカットボタンを両手で同時に押して、裁断刃を下ろします。(2)  
 12. もし、一番下の紙が完全に切れなかった場合には、機械本体右側面にある裁断刃上下調整ノブ (A) を工具箱に入っております T 字型マイナスドライバーで右方向にゆっくりと 1/4 回転させてください。  
 用紙が完全に全幅裁断されるまで同様の操作をしてください。(1 回転で 1.5mm の深さ調整が出来ます)

注意：裁断刃を余り受木に深く食い込む位置にセットしますと、刃先を傷めたり、磨耗を早める要因になりますので、お避けください。  
 裁断テストの際には、必ず紙押えレバーがしっかりと左方向へ強く倒してる事を確認して下さい。

次ページへつづく→



13. 裁断調整が完了しましたら、締め付けてあった5箇所の裁断刃取り付けネジを再度しっかりと締め付けてください。  
これで裁断刃の取り付けは完了です。



危険

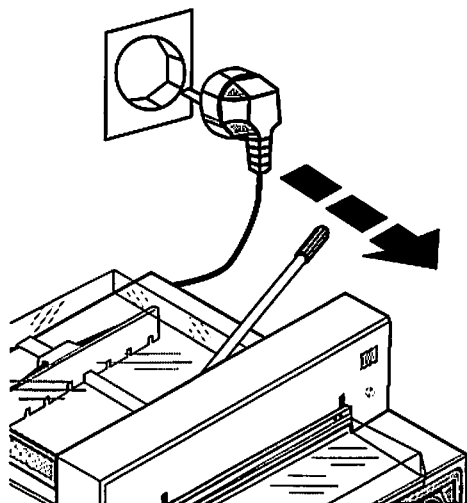
裁断時には常に紙押レバーが左方向にしっかりと倒されていて、紙押板が裁断刃を保護していなければなりません。  
しかも裁断刃は常に紙押板と重なりあっていて、刃先はプレートより上方に位置していなければなりません。



危険

不測の怪我・事故や機械の故障の原因ともなりかねませんので、裁断刃が作業中は、絶対に主電源スイッチを“0”の位置にしないでください。

## 8. メンテナンス（注油点検）及びクリーニング

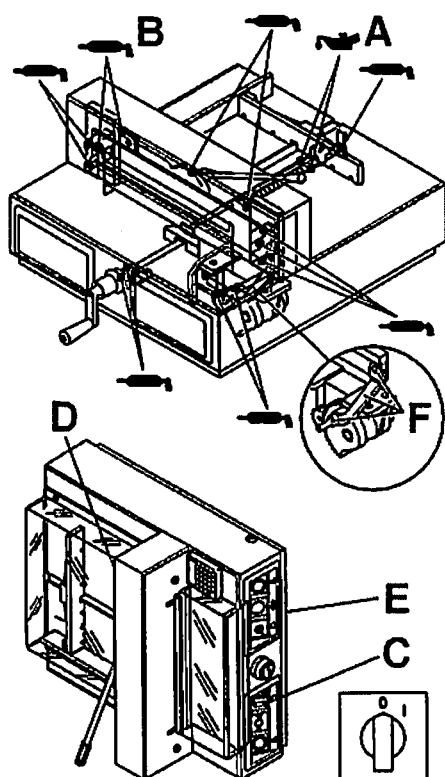


メンテナンス作業やクリーニング作業は、必ず熟練したスタッフの方が担当してください。



危険

メンテナンス作業、クリーニング作業、修理・保全作業等を行う前には、必ず機械の電源コードをコンセントから外してください。



(1) 注油について：

1. バックゲージの作動部（A）には1週間に1回の割合で、グリースを塗布してください。
2. その他の箇所（B）には、年に2回程度グリースを塗布してください。
3. 主電源スイッチ（C）を“0”の位置に合わせて、機械を左側に横倒ししてください。この際、受木を取り外し、大変危険ですので不安定な状態に傾けないでください。（横倒しの時だけはメカカバー（D）は絶対に外さないで下さい。
4. 機会の底板（E）を取り外してください。必要な工具は工具箱に入っています。
5. 機械本体内部の紙片を取り除いてください。
6. 機械の駆動部分にグリースを塗布してください。

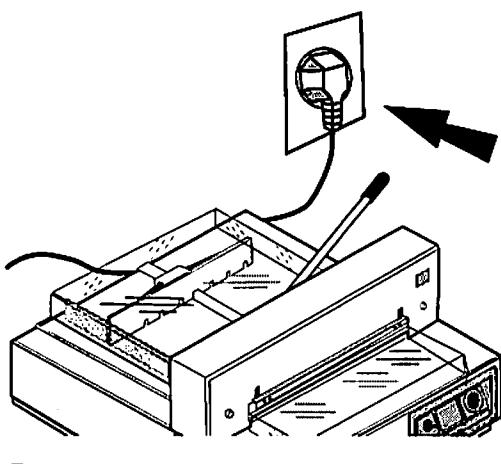
この裁断機は、欧米の国際安全基準や日本国の定める安全基準又は（社）産業安全技術協会等の公的機関による各種安全基準に準拠し、認定された製品ですが、ご使用の頻度又は年数により機械も疲労してまいります。

弊社と致しまして、最長でも5年に1度は安全検査又はオーバーホールをして頂くことをお勧めいたします。その際の費用等は、ご購入店或いは弊社までお問合せください。

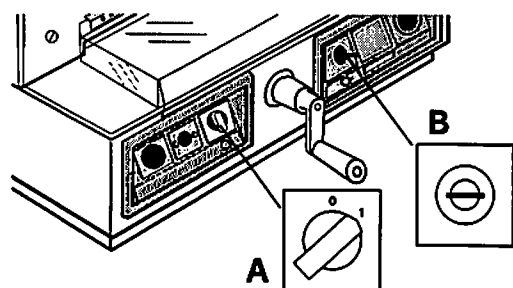
## 9. 故障かなと思ったら



機械が動かないけれど？！

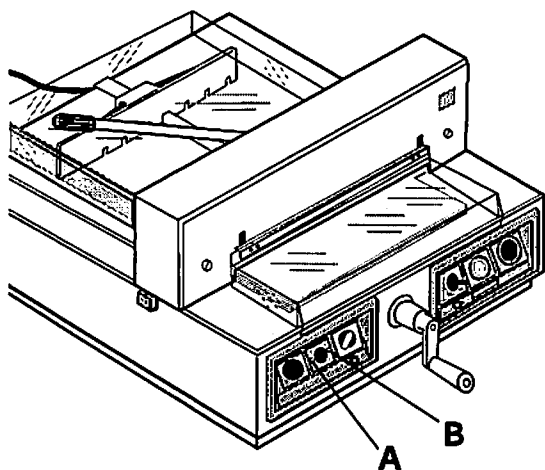


●電源コードはしっかりとコンセントに差し込んでありますか。



- 主電源スイッチは、正しく“|”の位置に合わせてありますか。(A)
- キースイッチ(B)は、正しく右方向に廻してありますか。
- 正しい操作を行っていますか。(両手操作)
- 前面安全ガードカバーはきちんと閉まっていますか。
- 電源(A)(B)を入れた時、前面安全ガードカバーを一度、垂直(90°)に上げましたか。

☆機械の電源が切れてしまった……………

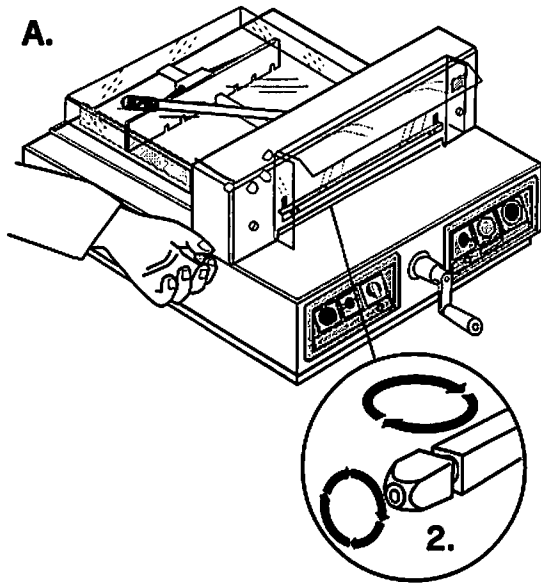


原因として

- (1) 機械に負荷がかかりすぎています。  
安全装置(プロテクター)(A)が飛び出していませんか。飛び出していたら1分間程度のクーリングの間をおいてから、プロテクター(A)を押してリセットしてください。
- (2) 裁断刃が摩耗し切れにくくなっています。  
研磨または新刃へ交換してください。
- (3) その他  
ご購入店又はマイツのサービス課までお問い合わせください。(巻末に記載)

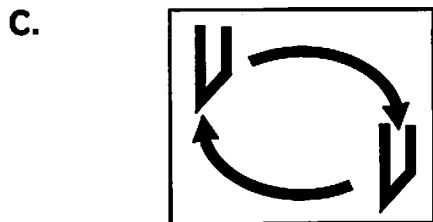
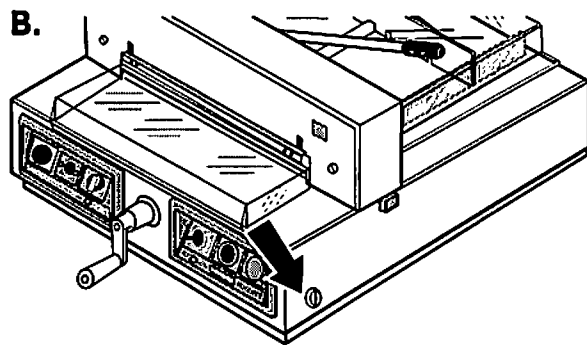


☆一番下の紙が裁断されていない.....

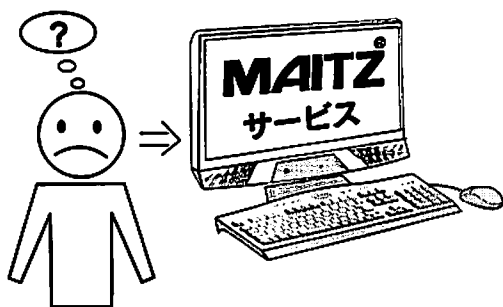


### 処置方法

- 受木(A)を回転させるか反転させるかして、新しい面を出します。
- 裁断刃上下調整ノブ(B)を右方向に1/4回転づつさせて、裁断テスト(別項)の要領で調整します。
- 裁断刃を交換してください。(別項参照)(C)



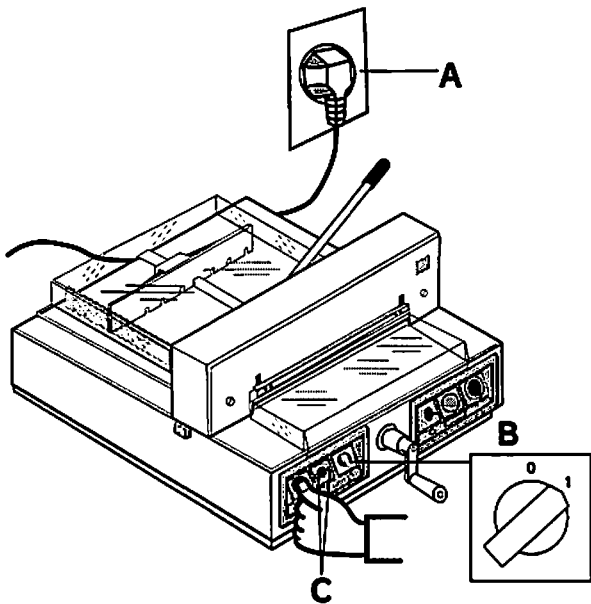
☆モーターは回転しているが、裁断刃が下に下りてこない.....



### 原因として

- 機械的な安全装置が働いています。  
ご購入店又はマイツのサービス課までお問合せください。(巻末に記載)

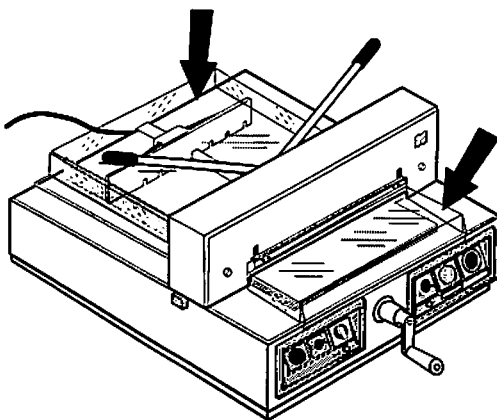
☆バックゲージの位置を表示する裁断寸法表示窓の  
数値表示が消えてしまっている……………



### 確認と処置

- 機械の電源コードがコンセントから外れていませんか？ (A)
- 主電源スイッチが“1”の位置にセットしてありますか？ (B)
- プロテクター(C)が飛び出していませんか？
- 本体機械内部にある電源ヒューズ、電気回路のブレーカーをチェックしてください。

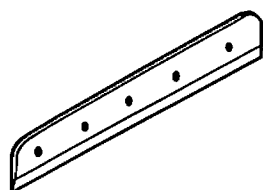
☆裁断が出来ない……………



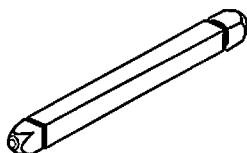
### 処置として

- 前面安全ガードカバーが開いていたら、締めてください。
- そのカバーが閉じていたら、もう一度開閉してください。

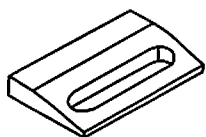
## 10. CE-4215専用アクセサリ 別売品



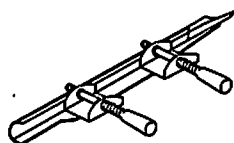
替刃セット  
専用裁断刃=1本、受木=5本



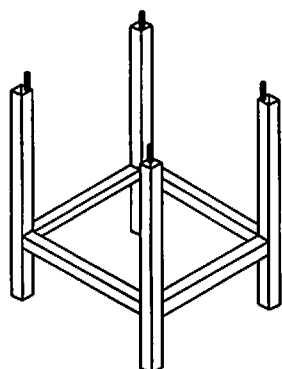
受木=10本/単位



ジョギングエイド (紙揃用木製ブロック)  
(ご購入時標準装備)



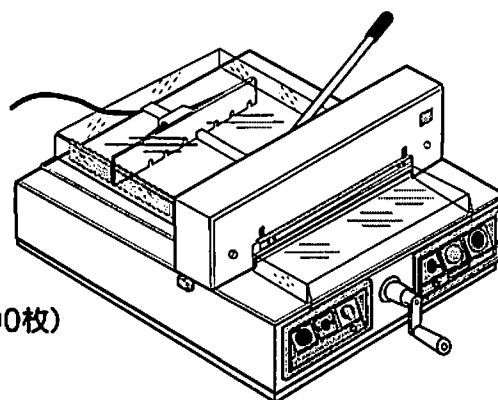
裁断刃交換用安全冶具  
(ご購入時標準装備)



専用台 (4脚スタンド)

## 11. 製品技術データ

駆動音量基準値：71dB (A) (EN 13023)  
定格電圧：100-115V  
定格消費電力：450W  
定格周波数：40Hz / 60Hz  
最大裁断幅：430mm  
最短裁断幅：35mm  
最大裁断厚：40mm (55kgs PPC用紙400枚)



規定された製品仕様の詳細は、本体向かって右側面 (A) にシール貼付してあります。  
電気回路の配線図は、本体内部の電源スイッチボックスに明記されております。

## 12. 製品の構造、装置、電気回路等に関する安全性



本裁断機は、製品の安全性に関して各種公的機関により認証を受けており、特に欧州(EC)の安全に関する規制に準拠しております。

EC規制：98/37/EC, 2006/95/EC, 89/336/EC.

駆動音量基準値の71 dB (A) はEN 13023の規格に基づいております。



日本及び海外において認証された安全性を明示するシールが機械本体の背面に貼付されております。

その他の認証を受けている安全基準に関する規格：

EN 60204-1; EN 1010-1; EN-1010-3;  
EN ISO 61000-3-2; EN ISO 61000-3-3;  
EN ISO 12100-1; EN ISO 12100-2; EN 294;  
EN 954-1; EN 13023



日本においても労働安全衛生法(第42条)の規定である安全装置構造規格の型式検定に合格し(合格番号：第T A 3 4 6・社団法人産業安全技術協会)、又「電気用品安全法」(経済産業省；PSE検定=Product Safety, Electrical Appliance & Materials)(絶縁耐久検査)にも合格した安心してお使いいただける、作業上の安全性を充分確保した製品です。

QUALITÄTSMANAGEMENTSYSTEM



DQS-zertifiziert nach  
DIN EN ISO 9001:2000  
Reg · Nr 1489 CM



☆ ☆ ☆

- 本製品、各種装置、構成部品、電気回路、各種アクセサリ及びメンテナンスツール(治具)等々のデザイン、素材又は仕様を予告なしに変更する場合があります。
- お客様が安心してお使いいただけるように、本製品の構造及び操作環境の安全性には充分留意しておりますが、なによりもお使いになれるお客様ご自信の安全へのご配慮が一番大切です。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。
- 各種お問い合わせやお困りになった場合の弊社窓口は、株式会社マイツ・コーポレーション (URL：<http://www.maitz.jp>)  
本 社：〒321-0131 栃木県宇都宮市宮の内1-175  
電 話：028-653-0656  
FAX：028-653-1711  
e-mail: info@maitz.jp  
(弊社指定休業日、年末年始、土・日・祝祭日を除く)